

戸次地区防災拠点施設「へつぎ防災広場」が完成しました

大規模災害時の物資輸送拠点として、令和2年度から事業を進めてきました戸次地区の防災拠点施設「へつぎ防災広場」が10月1日（火）から供用を開始します。

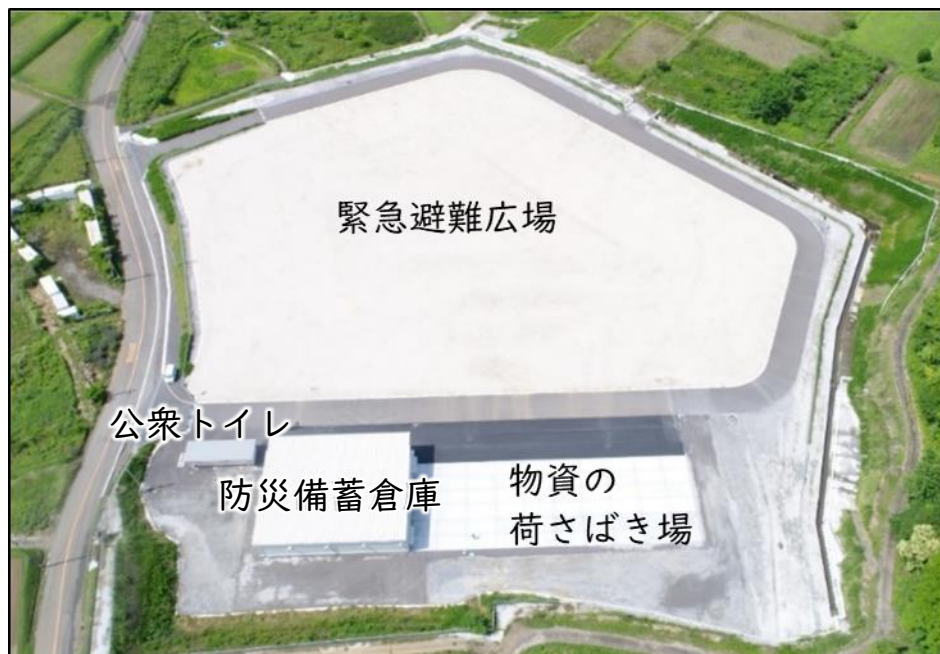
本市では、南海トラフ地震が発生した際に、沿岸部の広範囲で津波による浸水が予想されることから、県下の救援物資の集積拠点となる県の防災拠点「大分スポーツ公園」からのアクセスなども考慮する中で、津波の影響を受けない戸次地区に本施設を整備しました。

災害が発生し、または発生するおそれがある場合には、地域住民等の一時的緊急避難の場としても利用していただくこととしています。

なお、施設の完成を記念して、地元住民および関係者を招き、完成記念式典および施設見学会を開催します。

1. 施設の概要

名 称	へつぎ防災広場
所在地	大分市大字上戸次5257番1
面 積	総面積：約24,000平方メートル 防災施設面積（平坦部）：約19,000平方メートル
設 備	◆緊急避難広場：真砂土舗装 約11,000平方メートル ◆防災備蓄倉庫：鉄骨造平屋建 延べ面積416.5平方メートル ◆物資の荷さばき場：コンクリート舗装 833平方メートル ◆公衆トイレ：鉄筋コンクリート造 延べ面積32.25平方メートル



2. へつぎ防災広場完成記念式典および施設見学会

へつぎ防災広場の完成を記念し、関係機関や地元関係者を招いて、式典と見学会を開催します。

日 時	10月10日（木） 午前10時30分～
場 所	へつぎ防災広場
出席者	大分市長、大分市議会議員、大南地区自治会、大分南警察署、 大分市南消防署 ほか
内 容	あいさつ、記念写真撮影、テープカット、施設見学会など

《参考》へつぎ防災広場位置図



【防災危機管理課 内線1138】